

# 令和2年度第1回成田市生涯学習推進協議会会議概要

## 1 開催日時

令和2年8月4日（火） 10時00分から11時20分

## 2 開催場所

成田市役所 6階 大会議室

## 3 出席者

（委員）

日暮健会長、村島義則副会長、井上由里委員、廣田一利委員、品田等委員、  
五木田弘子委員、軸屋美恵子委員、加藤義昭委員、菅沢くみ子委員、木幡潤委員、  
大木英行委員、清野樹盟委員、中村好男委員、照元康委員、山下恭司委員  
※欠席 鈴木隆英委員、野平浩明委員、渡邊義行委員、梶尾百合子委員、  
井田正道委員

（事務局）

成田市長、関川教育長、野村シティプロモーション部長、伊藤スポーツ振興課長、  
大川スポーツ振興課スポーツ振興係長、田部スポーツ振興課スポーツ振興係副主査、  
清水教育部長、田中教育部参事、堀越生涯学習課長、麻生生涯学習課副参事、  
成毛生涯学習課社会教育係長

## 4 議事

- (1) 副会長及び部会長の選任について
- (2) 第3次成田市生涯学習推進計画骨子案について
- (3) 第3次成田市生涯スポーツマスタープラン（仮）骨子案について

## 5 議事録

### (1) 副会長及び部会長の選任について

《発言要旨》

門馬前副会長兼前生涯スポーツ推進部会長が委員を退任されたことに伴い、成田市生涯学習推進協議会設置条例第5条第1項及び第7条第3項に基づき、新たに副会長及び部会長の選出が必要なこと、また、廣田委員及び村島委員が新たに就任されたことに伴い、同条例第7条第1項に基づき、両委員が属する部会を会長が指名する必要があることを事務局から説明。選任については、次のとおり。

日暮会長：副会長の選任につきましては、本協議会発足当初から成田市スポーツ協会の会長に務めていただいているので、就任早々で恐縮ではございますが、村島委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。（異議なしの声を受けて）村島委

員の選任について、ご賛同いただける方は、拍手をお願いいたします。

委員：(拍手)

日暮会長：拍手多数と認めます。それでは、副会長は、村島委員に決定いたしましたので、副会長就任のご挨拶をお願いいたします。

村島副会長：(挨拶)

日暮会長：ありがとうございました。次に、部会につきましては、資料 6「成田市生涯学習推進協議会委員」にございますとおり、主な活動・所属団体等を考慮して、別添資料のとおり、割り振りをさせていただいております。村島副会長、廣田委員についても、前任者と同じ部会とさせていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。また、「部会長」の選出につきましては、部会に属する委員の互選により定めるとされておりますが、こちらにつきましても、生涯スポーツ推進部会長については門馬委員が務めていたことから、成田市スポーツ協会会長の村島委員がよろしいと思っておりますが、いかがでしょうか。ご賛同いただける方は、拍手をお願いいたします。

日暮会長：拍手多数と認めます。村島副会長よろしくをお願いいたします。

## (2) 第 3 次成田市生涯学習推進計画骨子案について

### 《発言要旨》

第 3 次成田市生涯学習推進計画骨子案について事務局から説明を行った。その後、次のとおり、質疑応答を行った。

大木委員：資料 2 ページの「計画の性格」のところで、学校教育振興基本計画が上位計画とあります。生涯学習と学校教育とは横並びだと思っておりますが、いかがでしょうか。

事務局：市全体の計画である総合計画が最上位計画となります。また、教育委員会の中でも全体としての計画を定めており、それが学校教育振興基本計画であることから、上位計画としております。

大木委員：全体である教育振興計画ならわかるのですが、資料の 4 ページにあるとおり、法律では、「学校教育」、「家庭教育」、「社会教育」などが相互に連携してとありますので、特に学校教育を上位としなくてもいいのではないかと思います。

事務局：学校教育振興基本計画には、生涯学習に関する基本施策もいくつか定めており、その計画に基づいて、教育の振興を図ろうとしております。学校教育振興基本計画の施策を実現するために、生涯学習推進計画を定めているので、ご理解をお願いします。

大木委員：資料 3 ページに期間が書いてあります。スポーツマスタープランの 3 ページにも期間があり、市の中のその他の計画との整合性も図っています。生涯学習の方も工夫をした方がよいのではないかと思います。

事務局：計画期間の見直しということでしょうか。

大木委員：そういうことではなく、図がありますが、市の中でその他にいろいろと計画があり、それぞれ終わりががあるので、書いていただくとありがたいです。

事務局：他の計画も並記したいと思っております。

木幡委員：資料 10 ページに④学校支援地域本部事業と⑤放課後子ども教室推進事業があります。7 ページにコーディネーターの配置やボランティアの数などがありますが、実際、登録してある学校の数はいくつでしょうか。

事務局：学校支援地域本部事業が 15 校で、放課後子ども教室が今年度は 9 校となります。

木幡委員：こちらにも数値を記載していただけるとありがたいです。

軸屋委員：資料 7 ページにリーダースクラブの所属人数が書かれており、年々この数字が減っております。私は成田市子ども会に所属しておりますが、中学生になると部活動に所属したり、スポーツ少年団に所属したりする子どもが多くなり、この数字が減少してしまいます。それだけの理由ではないと思いますが、令和 2 年と令和 7 年の目標値を達成できるように、こちらとしても工夫していきたいと考えております。それと、私は公民館などで実施したアンケートに回答した一人ですが、生涯学習が大事であると思ったことがありました。所属している団体で、ご主人がお亡くなりになって、2 年間のブランクがあり復活されたときに、それまで「喜怒哀楽」の「哀」しかなかったのに、「喜」と「楽」が出てきた方がいらっしやいました。その方はこんなに助けられたことはないとおっしゃっていましたので、生涯学習はとても大事だなと感じましたので、この場でご報告をさせていただきます。

### (3) 第 3 次成田市生涯スポーツマスタープラン（仮）骨子案について

#### 《発言要旨》

第 3 次成田市生涯スポーツマスタープラン（仮）骨子案について事務局から説明を行った。その後、次のとおり、質疑応答を行った。

軸屋委員：総合型 NPO 法人成田スポーツアカデミーが、令和 2 年 5 月に 2 番目の総合型地域スポーツクラブとして設立されたと書かれているのですけれども、場所はどちらになるのでしょうか。

事務局：本年 5 月に設立された団体については、基本的には公津地区を中心に活動を行っていく団体でございます。中台を中心に活動している団体につきましては、エンジョイ中台 S.S.C となります。

清野委員：スポーツツーリズムの認知状況について、一般の多くの方が知らないということが書いてありますが、もっと認知されていいと思うのですが、どのようにしていけばよいか。

事務局：こちらの一般の 90%の方が知らないということについて、我々もスポーツツーリズムを推進していくということで様々な取り組みをして、外部に情報を発信していたつもりでございました。こちらの調査は、小中学生のアンケートには、そもそも項目がございません。一般の方だけの項目で、知っているという回答が少なかったということです。スポーツツーリズムという言葉が耳にされている方はいらっしやるとは思いますが、スポーツツーリズムがどういうことだというのが

わからないから、その回答になっているのかと思います。やはり、各種イベントをする際にこういうことをやっていきます、これもスポーツツーリズムですということをまずお知らせをする。また、ホームページ等で啓発していくところを考えているところでもあります。もちろんもっと具体的なものがあればやっていきたいと考えております。具体的にこうしますということはなかなか今は、出てこないのですけれども、目標に向かっての周知をしていきたいと考えております。

清野委員：ぜひ、今回もっと色々な方に知ってもらいたい。成田市と市民の団体と一緒にやっていることなので、もっと市民にも広まって、工夫して、認知度を上げていただきたいと思います。

## 6 傍聴

0人